

# Step UP!

NO. 12

2014年 11月11日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

## 本社要請行動を行う!!

2014年11月11日、本部青年部は本社に対して年末手当の要請行動を行いました。冒頭、佐久間青年部長より要請書を読み上げ、「青年部員は期末手当の抑制や福利厚生制度の廃止がされてきた。更に消費増税や様々な価格の値上げで可処分所得が減少し続けている。その中で会社の希望を失い退職をする青年部員は多い、東海道本線の寸断で青年部員は自ら体を張って対応し、収入確保に向け全力を尽くしてきた。第4回の交渉において、夏季手当より厳しいと考えを明らかにした。私たちは感謝の言葉はいらない。求めているのは年末手当の満額回答である。」と、私たち青年部員のやる気に応える誠意ある回答を求めました。

### 青年部の声!!

- ・土砂崩れによる東海道線の寸断で職場では収入の確保に向けて必死で頑張った。これは自分たちの生活を守る為だからである。
- ・今のままでは職場で働く私たちのモチベーションは上がらない。
- ・夏季手当では期待した中で我慢を強いられた。それにより退職する青年部員が出ている。
- ・会社は職場の現状を全く分かっていない。青年部員の生活実態に会社経営陣はもっと目を向けるべきではないか。
- ・そもそも業績が上がる中、抑制する理由が分からない。夏季手当よりも厳しいと言うがその前に会社経営陣は自ら身を削ることをしていない。
- ・会社経営陣は我々と同じ賃金で働いていないから簡単に抑制しようとするのではないか。
- ・会社に希望をもてず退職を考えている青年部員はたくさんいる。今回の手当は青年部員の人生を左右する、しっかり考えるべきだ。



会社経営陣は私たちだけに我慢させる姿勢です (怒)

我々の現実を経営陣にぶつけよう!!